

◆常温でネオジム磁石の脱磁装置の開発

マグネットフォース株式会社

吹田市江の木町20-12
TEL : 06-6378-8484
FAX : 06-6378-8488
E-mail : k-miura@magnetforce.co.jp
H P : <http://magnetforce.co.jp/index.html>



代表取締役 三浦 好三

【事業概要】

現在、廃棄処分されている、家電（エアコン、洗濯機等）、小型家電およびゲーム機等、OA 機器（ハードディスク、各種モーター等）に使用されているネオジム磁石はほとんどスクラップ処理されています。また、今後大量に量産されるハイブリッド・電気自動車のモーター等にもこれらの磁石が大量に使用されていますが、リサイクル方法が確立されておりません。

吸引力・反発力が強い世界最強のネオジム磁石は希少価値金属（ネオジム、ジスプロシウム）を含んでおり、リサイクル、リユースするには、一度磁気を無くする（脱磁処理）必要があります。

脱磁処理には熱処理と電氣的(脱磁装置)の方法がありますが、熱処理では大量の熱エネルギーが消費され、電氣的では電気エネルギーが多く消費されます。そこで、磁気回路付き磁石を常温下で脱磁が出来れば、短時間で処理でき、熱エネルギー節減及び処理コストを低減することが出来、資源の再活用が容易となります。

常温下での脱磁装置の開発は、資源の廃棄量を減らし資源の枯渇にも貢献できます。また、現状、他国に依存していたスクラップ処理が国内で可能となります。



ネオジム脱磁装置

◆水上オートバイ用牽引式双胴船 (シースレッド)の開発

有限会社タキモトワークス

摂津市鳥飼和道1-7-7

TEL : 072-653-5474

FAX : 072-653-5707

E-mail : tw1-takimoto@mbh.nifty.com

H P : <http://www.tw1.jp/>



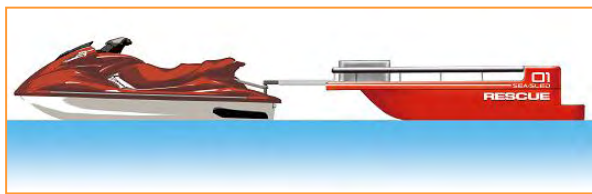
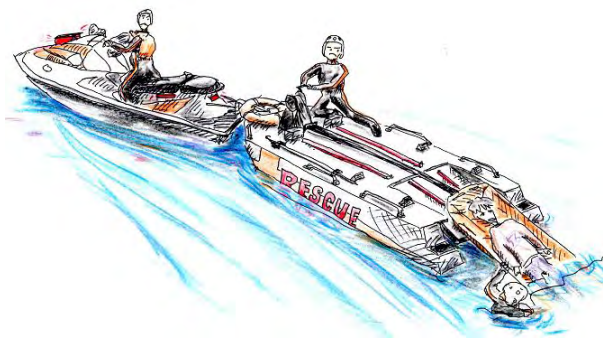
代表取締役 瀧本 一

【 事業概要 】

PWC（パーソナル・ウォーター・クラフト/水上オートバイ）を販売するビジネスは、景気の悪化や少子高齢化、また若い世代の趣味の変化によって将来性が乏しいため、新たなビジネスを開拓することが求められていました。そこで、現在まで20年間PWCにかかわるビジネスの経験値を生かしながらPWCの価値を「乗る」から「使う」に変えて新たな需要を自ら開発し、ビジネスにつなげようと考えました。

この事業では、PWCに船を連結して牽引する「牽引式双胴船」を開発し、水難事故等に役立つPWC専用の「救助支援船」を開発します。これは河川や海浜などで要救助者を容易に救助・搬送出来、消防署の救助活動をより迅速に行うことが出来る牽引式双胴船です。この商品を摂津市消防本部のレスキュー隊員の意見を取入れて開発し、海難救助に役立っていきたいと思います。

また、異なった形状のデッキ部を組み込むことにより、資材運搬用やスポーツ用の牽引式双胴船を提供することができます。



◆給排水を必要としない災害対策用バイオマス型循環水洗トイレのシステム開発と小地域分散型バイオトープ排水処理システムの事業を行う

関西ピー・ジー・エス株式会社（中小企業のグループ）

高槻市天川町 41 番 2 号
TEL : 072-661-5385
FAX : 072-661-5388
E-mail : info@pgs.co.jp
HP : http://www.pgs.co.jp/index.html



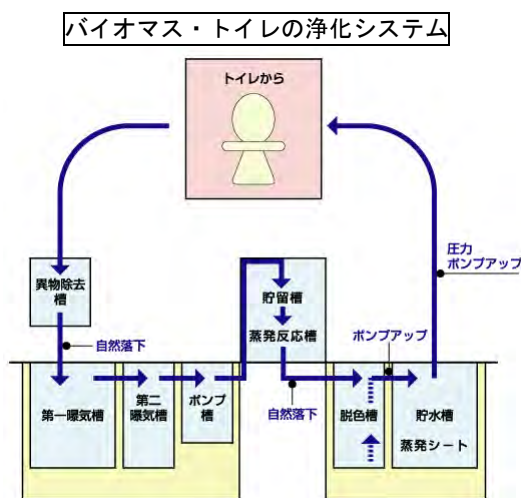
代表 鈴木 實

【事業概要】

大規模災害でトイレの問題は切実です。大阪などの大都会においても、帰宅難民や一時避難住民に対するトイレの供給は準備されていないのが現状です。

この事業では、1台で約 200 回/日の規模の避難所で使える移動式バイオマス水洗トイレの開発を行い、災害時にも給排水を必要としないトイレシステムと仮設住宅用 PGS 式浄化装置・小集落用分散型バイオトープシステムを開発販売します。

緊急時に備えて準備された移動式循環式のバイオマス水洗トイレは、普段は公園等で、環境にやさしい無排水バイオマス水洗トイレとして運用され、災害時には、トレーラーやヘリコプター等で、避難所等に移動が可能です。上下水道のない場所で多人数のトイレを提供でき、農村部など、人口密度の低い地域では、分散型バイオトープ排水処理システムを導入すれば、巨大で高コストの設備も不要となります。し尿回収費用、人員、廃棄処理の不要を可能にした自立型移動式水洗トイレとして、緊急災害時に備えての使用が期待されます。



【原理】微生物の働きを促進させ、無臭・無排水・無汚泥・無導管・無薬品使用の循環式水洗トイレ



被災地での設置（陸前高田市）